

道央家族会報 10号



2017年度道央地区知的障がい児・者家族会総会

5月21日 10:00より、北広島市芸術文化ホールで道央地区知的障がい児・者家族会総会が開催されました。道央知的しょうがい者福祉施設協会、田中秀典副会長が、荒会長の代理で来賓として挨拶されました。

2006年に自立支援法が施行されたとき、北海道から大勢の人々が日比谷公園への抗議集会に出かけたこと。それを契機として、北海道知的障がい児・者家族会連合会が結成されたこと。

今後の活動への期待などについて、熱く語られました。

出席総数 25名 (7家族会 23名、委任状 1通、賛助会員 1名、来賓 1名)

2016年度事業報告の後、2017年度事業計画が提案のとおり承認・議決されました。

▼道央地区知的障がい児・者家族会 2017年度事業計画

【基本方針】

障がいのあるすべての人々が安心して暮らせる社会を目指し、家族会同士の結束を強め、北海道知的障がい児・者家族会連合会と連携しつつ、道央地区知的障がい児・者家族会としての活動を展開する。

【重点事項】

1. 入所支援施設、通所、グループホーム等を利用者が自由に選択できる福祉政策の実現
2. 研修会や懇談会を通じ、各家族会会員の交流を図る。
3. 道央地区知的障がい児・者家族会の会報
年2回発行する。
4. 未加入家族会への働きかけ
情報提供と研修会等の案内をしつつ、加入のお願い文書を送付する。
5. 全施連全国大会の協力体制
「全施連全国大会 in 秋田」(2017年10月3日～4日)への参加呼びかけを行う。

【役員改選】

今年度は役員改選がありました。

会長 1名、副会長 2名、事務局長 1名、幹事 6名、監査 2名

留任・新任はありますが、新たな役員体制で出発です。



✿ 北海道知的障がい児・者家族会連合会 10 周年記念 2017 年度第 1 回研修会・総会

5 月 28 日 10:00 より、札幌市教育文化会館で北海道知的障がい児・者家族会連合会の研修会が開催されました。「各政党との道家連要望に対する意見交換会」が行われ、「親なき後の看取りの施設（終の住処）としての入所支援施設の機能拡充」がテーマでした。自由民主党、公明党、民進党、日本共産党、各党からの参加があり、道家連から 3 名のコメンテーターと意見を交わしました。出席総数 139 名。道央からは 23 名の出席です。

13:00 より、研修会と同じ講堂で総会が開催されました。北海道保健福祉部 福祉局 障がい者保健福祉課 植村豊課長、北海道知的障がい福祉協会 荒洋一副会長、北海道手をつなぐ育成会 白戸一秀事務局長、各氏が来賓として主席されました。議事は提案どおり承認・議決されました。出席総数 131 名（53 団体、2 賛助会員、委任状 42、代議員 39 名） 道央からは 24 名の出席です。

※研修会と総会の資料は、道家連のホームページ（<http://do-ren.ciao.jp/>）からダウンロードできます。

✿ 家族会便り（ハロー家族会）

5 月 13 日 10:30 より、ハロー家族会の総会と EN 游会が、ハロー-ENJOY（栗山町大井分）の地域交流会館で開催されました。家族会のメンバーの高齢化に伴い、参加人数も減少傾向にある中、50 数組もの参加がありました。会長の挨拶で始まり、議事は淡々と進行され、承認・可決されました。最後に、橋総合施設長より、法改正対応によるハロー-ENJOY の役員改選の報告があり、組織と新スタッフの紹介がありました。

その後、この日のメインである EN 游会が開催されました。風も強く、肌寒く、曇り空が心配でしたが、EN 游会には、理事長はじめ、理事の皆さん、施設長にも参加いただきました。また、スタッフの皆さん、ボランティアの「赤とんぼ」の皆さんのご協力により、とても盛り上がりました。美味しいジンギスカンを堪能しつつ、利用者さん、家族の方たちと、半年ぶりの交流を楽しみ、本当に有意義な時間を過ごすことができました。



家族会便り（共栄緑の郷）

4月8日 10:00より、共栄緑の郷の定期総会が北広島市芸術文化ホールで開催されました。会員数160名中、出席55名、委任状94名でした。議事は提案どおり承認・議決されました。議事内容の一部を紹介します。

【2017年度の事業計画】

- ・法人との信頼関係を強化し、協力体制を構築していく
- ・会員からの意見要望を吸収し、適宜対処する
- ・タイムリーな内容での研修会の実施
- ・施設整備への協力
- ・会員へのタイムリーな情報提供
- ・他施設との交流事業の実施
- ・道央地区家族会、道家連、全施連活動への協力
- ・共栄緑の郷30周年記念誌の編纂

【施設運営協力】

- ・春の環境整備：5月13日（土曜日）
- ・秋の環境整備：10月21日（土曜日）
- ・市民の郷祭り：8月26日（土曜日）
- ・クリスマス会：12月16日（土曜日）

【会員相互の親睦】

- ・十勝川温泉旅行 1班5月26～27日、2班6月9～10日、3班6月18～19日
- ・近郊旅行 1泊又は日帰り9～10月

【道内台風被害義援金】

- ・総会当日、会員の方々から16,731円の義援金の協力がありました。共栄緑の郷からも30,000円を拠出し、合計46,731円を道家連絆事業部に送金しました。



家族会便り（新篠津ふれあいの苑）

4月22日、ふれあいの苑の総会が開催されました。担当職員との個別面談も行われました。

6月3日、午前中に役員会が開催され、昼食後に親睦会が催されました。施設長、職員も参加して、合計30人が2組に分かれ、屋内ゲーム（ダーツと、バトミントンのシャトルを傘に入れる）をしました。高得点の人、失敗する人、景品を手にも満面の笑みの人など、年齢を忘れて盛り上がりました。パークゴルフも予定していましたが、生憎の雨で中止。15:00に散会した後、温泉に入って、さっぱりとしました。

今回で3回目の親睦会でしたが、今後も内容を考え、多くの会員が参加できる行事にと思っております。





家族会便り（長沼陽風家族会）

長沼陽風家族会の会計年度は、設立当初から暦年と同じく、1月1日から12月31日までです。

2月12日に、札幌市教育文化会館で総会と研修会が開催されました。総会は、午前中の開催です。会員数133名に対して、出席18名、委任状73名でした。ちょっと寂しい出席状況です。厳寒期の開催ですが、何とかして、もっと多くの会員の方が出席できる方策を考えなくてはいけないと思っています。審議内容については、全て全員一致で承認・可決されました。

事前の役員会で、研修会について、次のような結論に至っていました。

「発達障がい限定した内容になるかもしれないが、世の中には、こんなにも色々な人がいるんだね。という認識を得られることについては、すごくプラスになると思う。知的障がいのみに限定するのではなく、様々な人たちの、様々な暮らしが営まれていること。それを、みんなで、お互いに理解し合いながら生きて行きましょうよ。という見聞を広げる研修であれば、すごく良いと思う」

午後から開催された研修会に、札幌学院大学 人文学部 人間科学科教授 二通諭先生をお招きし、「映画で学ぶ発達障害の豊かな世界」というテーマで講演をお願いしました。二通先生は、石狩管内の小・中学校の支援学級で長く児童・生徒の指導に当たってこられました。ご存じの方も多いと思います。

親しみ深い邦画の「男はつらいよ」の寅さん（ADHD）や、「サウンド オブ ミュージック」の主人公マリア（ADHD）、「ひはやふる」の机君（自閉症スペクトラム）、「ビリギャル」の女子高生（この映画は、学校不適應生徒の可能性を謳い上げています）など、私たちの身近にある映画の中から、障害を持って暮らす方々の姿のお話をされました。普段とは異なった視点で、障がいを持つ方々の活躍の場を考えられる時間であったように感じました。映画化されていない偉人・有名人にも、障害者のいることを教えてくれました。野口英世（浪費癖：脳の数処理関連領域に障がい）、夏目漱石（精神障がい）、ウォルト・ディズニー（多動症：ミッキーマウスは、本人の幼年時代の再現）、太宰治（境界性人格障害、自己愛性人格障害）、三島由紀夫（自己愛性人格障害）、黒澤明（てんかん者の不機嫌性、徹底性・完璧主義）、トム・クルーズ（学習障害：読字障害）、モーツァルト（サヴァン症候群、ADHD）

今回の研修会で、世の中には色々な人がいて、みんなで、お互いに理解し合いながら生きていかなければならないことを改めて学ぶことができました。



編集後記

次号の発行は10月の予定です。

各家族会のお話・情報をメインにしたいと思いますので、皆様のご投稿をお待ちしております。

